



# 上京

史蹟と文化

2016 VOL. 50



# 美を語る

## 池田遙邨の山頭火

晩年近い昭和六十一年（一九八六）、池田遙邨は〈嵯峨野の細道〉と題した作品を発表しています。これは京都府が、在京の日本画家・洋画家に依頼して、京都の風景や風俗を描いて貰ったものでした。これら約百点を『京の四季』展として市内に展示した後、各地に巡回しました。



池田遙邨 「嵯峨野の細道」 1986年 京都府蔵

嵯野にあ  
また在る  
細道の一  
つでしょ  
う。よく  
知られた  
大河内山  
荘に至る  
竹藪や、  
祇王寺  
道、直指

庵道を想起される方もおられるでしょう。縦長の画面に青々とした竹藪、中央に黄土の落葉道。そして藪椿が咲き、落花も見られ、日陰には山路の葉、柴垣、そして、ポイントを成す一匹の狐を置いて、春の小道を表しています。わずかにうねる道に、あるいは尾形光琳の〈紅白梅図屏風〉の世界を見ることが出来るかも知れません。



美術史家

加藤 類子

嵯峨野に近い山々は、丹波高原の南端、意外に深いのです。狐や熊、鹿、日本猿、猪、狸などが棲んでいます。応挙以来の京都日本画にしばしば登場する動物ばかりです。元は恐らく、古代中国から渡来した吉祥をもたらず動物が起源でしょう。それらから虎や獅子、手長猿や羊が除かれ、身近の小動物が残ったのです。因みに、池田遙邨と同世代の山口華楊は、農鳥社を創設した西村五雲の弟子ですが、五雲の師は、江戸中期以降隆盛を誇った岸派の一人、岸竹堂でした。ですから、近世京都日本画は写生を基本に、花鳥走獸（動物）を描く画派と言つてよいのです。少し回り道をしましたが、池田遙邨も、京都画派の一翼を担つて、花鳥動物を画題に取り上げてきました。晩年には、小動物を写生すること、観察することを通じて、彼等に一種の靈性を感じていたのではないのでしょうか。靈性と言つても、けつして怖い妖怪に転じることなく、昔の人が体験したように、寸時化かされるような感覚だったのかも知れません。遙邨の絵に、小動物や鳥が描かれることがあります。煙のようなもの、単に靈の存在を暗示するばかりのものも描かれました。

しかし、観る人には、それが神秘性を象徴するような森蔵なもの

はなく、むしろ、より親しく、より微笑ましいものに映るのです。しばしば批評に「剽軽<sup>ひょうけい</sup>」と書かれることがあります。本当に、人の暮らしの周辺をうろつろする剽軽な小動物なのです。考えようによっては、人を小馬鹿にしたような、からかうようなけたもの達ですが、遙邨が描くと、からかわれたいようなけたものになるのです。同じ眼差しを室町時代の「御伽草子<sup>おとぎそうし</sup>」にも見ることが出来ます。

池田遙邨は岡山県に生まれましたが、紡績のエンジニアの父に伴って、大阪、大牟田、再び大阪、上海、福山と転々としています。小学校も転校続きで、ようやく落ち着いたので、単身大阪に出て、松原三五郎の天彩画塾に入り、洋画の勉強を始めてからでした。転勤族の常として、孤独である上に、洋画を習ったことで、個性を尊重すること、自由に思考することを身に付けていました。日本画に転向し、竹内栖鳳の竹杖会に入塾してからも西洋画風の考え方から離れられず、師の忠告にも耳を貸さず、むしろムンクやゴッホの世界に近づきました。ようやく長男が誕生したことで画壇に復帰し、丁度下鴨に居を定めた頃、日本は経済恐慌、不景気、第二次世界大戦への道を辿り始めていました。日本画界も大正期の自由なロマンチックな動向は後退し、大和絵の端正な表現が好まれるようになりました。この頃の遙邨の作風は《雪の大阪》(一九二九年)、《雨の大阪》(一九三五年)、《吉野拾遺》(一九四二年)など、格調高く、よそゆきな表現が目立ちます。趣味で始めた自由律俳句(定型の五・七・五を採らない)が唯一の息抜きでした。

多くの画家の場合も同様ですが、一人の画家の生涯の業績を見て行きますと、真直ぐな道を直進する画家は多くありません。必ず革新の意気があり、逡巡<sup>しゆんじゆん</sup>があり、停滞があり、天折<sup>てんせつ</sup>しなければ、自分の世界の創造があり、洒脱<sup>しゃだつ</sup>の境地があります。皆が皆、その道を辿るとは限りませんが、池田遙邨の場合は、大きくは逸脱していません。

池田遙邨が種田山頭火<sup>さんとうか</sup>に傾倒したのは、いつ頃からだったのでしょうか。一九六八年の塾展、「青塔社展」に出展した《野》は、縞馬がたむろするサバンナの片隅に、可憐な小さな黄花が咲き、緑の野が広々とした作品ですが、その作品辺りから、山頭火への私淑<sup>ししよく</sup>が始まっていたのではないかと思えます。山頭火の托鉢姿<sup>たくはつ</sup>が現れるのは、東京を皮切りに、京都、大阪、岡山の高島屋を巡る個展の出品作《山頭火が行く》(一九八四年)であろうかと思えます。毎年の日展に山頭火の句を題材とする作品を出品するのに加え、一九八八年には、高島屋美術部創設八〇年記念「放浪と行乞の旅に魅せられて―池田遙邨展」が開催され、その展覧会に十三点の山頭火シリーズを出品しました。すでに九十歳を越えている遙邨が半年に満たぬ間に、このようなシリーズを創造するのは、驚異的なことです。いくら描きたいものが次々と醗酵して、胸が一杯になった結果としてもです。この個展の作品は「山頭火シリーズ」と名付けられていますが、もう画面には旅僧の姿はありません。

池田遙邨は一九八八年八月、体調を崩し、日展出品のため制作を始めていた《家を持たない秋がふかうなった 山頭火》の制作を中止します。そのまま入院。九月二十九日、逝去しました。享年九十二歳でした。《家を持たない秋がふかうなった 山頭火》が絶筆となりました。



池田遙邨 「家を持たない秋がふかうなった 山頭火」  
1988年 京都国立近代美術館蔵

# 上京のたぐいがない国の宝

私たちが暮らす上京区には「国

宝」指定を受けた美術工芸品や建造物が十三件あります。「国宝」とは、我が国の「文化財保護法」によって指定された「重要文化財」のうち、「世界文化の見地から価値の高いもので、たぐいがない国民の宝」である有形文化財（同法第二十七条第二項）で、文字通り日本の「国の宝」です。その宝が上京区に数多くあることは、先人から歴史を継承する大切さを受け継いできた私たちの大きな誇りだと言えるでしょう。

昨年十二月十三日に実施された「平成二十七年 第十二回京都・観光文化検定試験」（京都検定）に次のような出題がありました。

◎三級

(34) 今日まで八〇〇余年の歴史をもち、貴重な公家文化を伝える時雨亭文庫で有名な「和歌の家」はどこか。

(ア) 二条家 (イ) 近衛家 (ウ) 京極家 (エ) 冷泉家

◎二級

(21) 京都市街地では現存最古の木造建築である本堂（国宝）がある寺院はどこか。

(ア) 引接寺 (イ) 石像寺 (ウ) 大報恩寺 (エ) 本法寺

(41) 二月三日に行われる「鬼法楽」は、開祖の良源が修行中、邪魔に入った鬼を退散させた故事に由来する。この寺院はどこか。

(ア) 壬生寺 (イ) 誓願寺 (ウ) 大報恩寺 (エ) 廬山寺

第十二回京都・観光文化検定試験より抜粋

「上京―史蹟と文化」の読者の

方ならもちろんお分かりでしょうが、答は三級（34）は（エ）冷泉家、二級（21）が（ウ）大報恩寺、（41）が（エ）廬山寺ですね。

では問題  
冷泉家、大報恩寺、  
廬山寺に共通するものは何か。

そう、答は「国宝」です。

次頁の『上京区の国宝一覽』に十三件とありますが、十三という数字は指定件数で、東寺百合文書ひゃくごうもんじょ二万四千六十七通や明

月記五十八巻など員数が多いものも、点数ではなく「一件」として数えます。このうち慈恵大師自筆遺告ゆいごうは東京国立博物館に寄託、東寺百合文書は一九六七年に京都府が文化財保護の目的で買い上げ、京都府総合資料館が保存、公開し

| 国宝・重要文化財の内訳（平成28年1月1日現在） |       |     |       |       |        |
|--------------------------|-------|-----|-------|-------|--------|
| （重要文化財には国宝数を含む）          |       |     |       |       |        |
|                          |       | 国 宝 |       | 重要文化財 |        |
|                          |       | 京都  | 全国    | 京都    | 全国     |
| 美術工芸品                    | 絵画    | 44  | 159   | 483   | 2,002  |
|                          | 彫刻    | 38  | 130   | 416   | 2,692  |
|                          | 工芸品   | 15  | 252   | 183   | 2,447  |
|                          | 書跡・典籍 | 54  | 224   | 456   | 1,903  |
|                          | 古文書   | 27  | 60    | 280   | 759    |
|                          | 考古資料  | 3   | 46    | 27    | 618    |
|                          | 歴史資料  | —   | 3     | 21    | 191    |
|                          | 計     | 181 | 874   | 1,866 | 10,612 |
| 建造物                      | 件数    | 50  | 222   | 294   | 2,437  |
|                          | 棟数    | 62  | 272   | 630   | 4,732  |
|                          | 合計    | 231 | 1,096 | 2,160 | 13,049 |

文化庁ホームページ「文化財指定等の件数」による

※「京都・観光文化検定試験」・「京都検定」は京都商工会議所の登録商標です。



## 上京区の国宝一覧

(平成28年1月1日現在)

- 1 無学祖元墨蹟 (与長楽寺一翁偈語 弘安二年十一月一日) 4幅 相国寺
- 2 大報恩寺本堂 (千本釈迦堂) 1棟 大報恩寺
- 3 玳瑁天目茶碗 1口 相国寺
- 4 紙本著色北野天神縁起 8巻 (附:紙本墨画同縁起下絵1巻、梅樹蒔絵箱1合) 北野天満宮
- 5 北野天満宮 本殿、石の間、拝殿及び楽の間 1棟 北野天満宮
- 6 慈恵大師自筆遺告 (天禄三年五月) 1巻 廬山寺
- 7 古来風躰抄 (上下 (初撰本) / 自筆本) 2帖 公益財団法人冷泉家時雨亭文庫
- 8 古今和歌集 (藤原定家筆) 1帖 (附:後土御門天皇宸翰消息・後柏原天皇宸翰詠草・後奈良天皇宸翰消息1巻) 公益財団法人冷泉家時雨亭文庫
- 9 後撰和歌集 (藤原定家筆) 1帖 公益財団法人冷泉家時雨亭文庫
- 10 明月記 (自筆本) 58巻1幅 (附:補写本1巻、旧表紙(10枚)1巻) 公益財団法人冷泉家時雨亭文庫
- 11 拾遺愚草 (上中下 / 自筆本) 3帖 (附:草稿断簡1幅) 公益財団法人冷泉家時雨亭文庫
- 12 絹本著色阿弥陀三尊像 (普悦筆) 3幅 清浄華院
- 13 東寺百合文書 (二万四千六十七通) 3863巻、1172冊、6帖、67幅、13695通 京都府

(注) 1~12は国宝指定順。13東寺百合文書は所有者である京都府(京都府庁)が上京区内にあるため、件数に加えている。

ており、昨年十月には国連教育科学文化機関(ユネスコ)の記憶遺産登録が決まりました。

国宝の指定対象になるのは、建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡・典籍、古文書、考古資料、歴史資料

料で、建造物以外のものを総称して「美術工芸品」と呼び、古墳、貝塚、住居跡などは含まれません。四ペー

## 国宝・重要文化財の主な都道府県別指定件数

(平成28年1月1日現在)

|        | 国 宝   |     |     | 重要文化財 |     |       |
|--------|-------|-----|-----|-------|-----|-------|
|        | 美術工芸品 | 建造物 | 計   | 美術工芸品 | 建造物 | 計     |
| 1 東 京  | 274   | 2   | 276 | 2,678 | 79  | 2,757 |
| 2 京 都  | 181   | 50  | 231 | 1,866 | 294 | 2,160 |
| 3 奈 良  | 135   | 64  | 199 | 1,057 | 263 | 1,320 |
| 4 大 阪  | 55    | 5   | 60  | 574   | 99  | 673   |
| 5 滋 賀  | 33    | 22  | 55  | 634   | 184 | 818   |
| 6 和歌山  | 29    | 7   | 36  | 308   | 80  | 388   |
| 7 兵 庫  | 9     | 11  | 20  | 358   | 108 | 466   |
| 8 広 島  | 12    | 7   | 19  | 147   | 62  | 209   |
| 9 神奈川  | 17    | 1   | 18  | 292   | 54  | 346   |
| 10 栃 木 | 10    | 7   | 17  | 123   | 33  | 156   |

文化庁ホームページ「文化財指定等の件数」による

①重要文化財数には国宝数を含む。

②美術工芸品の県別の件数は、平成27年9月現在で文化庁が把握している件数を基準としている。

六〇一件で全国の五四・八割、重

物、絵画、彫刻(多くは仏像)が多

を数え、国宝は東京都に続いて二位で全国の二一・〇割、重要文化財も同様に東京都に続いて二位で全国の一六・五割を占めます。「京都を抜きにして国宝は語れない」ことは明白です。

要文化財は五八二五件で全国の四四・六割となります。単に数字だけを見れば、国宝二七六件、重要文化財二七五七件を持つ東京都が全国一位ですが、これは一般の目に触れやすい建造物、絵画、彫刻(多くは仏像)が多



文通週間の図案に取り上げられた「鳶鴉図」(1976年、100円)

徴でしよう。

これが出来るのも上京区の特徴でしよう。

名な建造物ばかりで、今後の国宝指定も期待されそうです。

これらの中世から明治期までを代表する著名な建造物ばかりで、今後の国宝指定も期待されそうです。

これらの中世から明治期までを代表する著名な建造物ばかりで、今後の国宝指定も期待されそうです。

これらの中世から明治期までを代表する著名な建造物ばかりで、今後の国宝指定も期待されそうです。

これらの中世から明治期までを代表する著名な建造物ばかりで、今後の国宝指定も期待されそうです。

これらの中世から明治期までを代表する著名な建造物ばかりで、今後の国宝指定も期待されそうです。

これらの中世から明治期までを代表する著名な建造物ばかりで、今後の国宝指定も期待されそうです。

東京都の博物館、美術館、大学、研究施設等が持つ書跡・典籍、古文書、考古資料などの件数が圧倒的に多いからで、中でも東京国立博物館はわが国最多の八十七件も国宝を所蔵しています。

上京区の国宝十三件は、全国ベスト一〇に迫る数です。また、上京区の重要文化財は二四五件(平成二十六年現在)で、藤原俊成・定家に始まるさまざまな歌集を守る冷泉家時雨亭文庫、長谷川等伯の六曲屏風「紙本墨画猿猴竹林図」など多くの書画・墨蹟を持つ相国寺・承天閣美術館、同じく等伯筆の高僧肖像画が伝わる本法寺、あるいは郵便切手にもなった

与謝蕪村筆の「紙本墨画淡彩鳶鴉図」で知られる北村美術館など、数多くの文化財を所有している施設が多く、こちらも全国ベスト一〇に入る数を誇ります。

美術工芸品だけではなく建造物

でも、引接寺(千本閻魔堂)塔

婆、表千家祖堂、裏千家住宅、旧

京都中央電話局西陣分局舎、京

都府庁旧本館、相国寺本堂(法

堂、附玄関廊)、同志社(旧英学

校、神学校及び波理須理科学校)、

宝篋印塔(鶴の塔、北村美術館)、

報土寺(本堂、表門)、冷泉家住

宅、北野天満宮(中門、廻廊二

棟、後門、透塀二棟、東門)など、

中世から明治期までを代表する著

名な建造物ばかりで、今後の国

宝指定も期待されそうです。

これらの中世から明治期までを代表する著名な建造物ばかりで、今後の

国宝指定も期待されそうです。

これらの中世から明治期までを代表する著名な建造物ばかりで、今後の

国宝指定も期待されそうです。

これらの中世から明治期までを代表する著名な建造物ばかりで、今後の

国宝指定も期待されそうです。

こうして上京区の文化財を見て来ると、京都御所紫宸殿や清凉殿

などの建造物、数多くの殿堂を飾

る障壁画などのどれ一つとして国

宝、重要文化財の指定を受けてい

ないことに気がつきます。実は宮

内庁(書陵部、三の丸尚蔵館、京

都事務所、正倉院事務所)が管理

する文化財および御物、皇室の私

有品)は、現行の文化財保護法に

明文規定があるわけではありません

んが、第二次世界大戦以前からの

慣例で、国宝、重要文化財、史跡、

特別史跡等の指定対象外となっ

ているのです。このため正倉院宝

物、桂離宮、修学院離宮なども

宝ではありません。ただし建物は

例外で、「古都奈良の文化財」の

世界遺産登録を期に一九九七年に

正倉院正倉一棟が国宝に指定され

ました。これは登録の前提条件と

して、登録物件が所在国の法律に

より文化財として保護を受けてい

ることが条件であるための例外的

措置だったのです。

永年の信用 まごころのご奉仕

葬祭センター

公益社

本社 / 京都市中京区烏丸通三条下ル

0120-00-4200

公益社 京都

検索

葬祭式場 ブライトホール

北 ブライトホール [堀川紫明]  
 中央 ブライトホール [五条大和大路]  
 南 ブライトホール [堀川八条]  
 西 ブライトホール [五条西大路]  
 山科 ブライトホール [五条外環]  
 烏丸 ブライトホール [烏丸高辻]  
 宇治 ブライトホール [宇治横島]  
 大津 ブライトホール [大津駅南]

# 上京の国宝紹介

(順不同)

## 相国寺

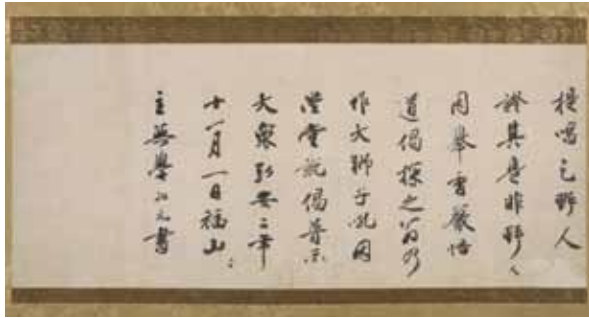
○無学祖元墨蹟

(与長楽寺一翁偈語)

### 宋から渡来した禅僧の筆跡

禅宗の高僧によって書き残された書を「墨蹟」と呼びます。これらは自らの修行によって得た文言が独自の筆法によって書かれており、その弟子たちが祖師の書として大切に伝えてきました。近世になると茶の湯の掛物として珍重されるようになります。

この墨蹟は宋から来朝した高僧の無学祖元(一二二六―八六)が弘安二年(一二八〇)五十四歳の時に七十歳の下野国長楽寺の一翁院豪の求めに応じて書き与えた偈語です。それは老齢をかえりみず



無学祖元墨蹟

垂示を請うた院豪に、その修学弁道を励ましたものです。縦三六・四センチの紙に五字詰で書かれ、現在は四幅に分割されていますが、元は三・六メートル程の卷子本でした。堂々たる宋代の書風を伝え、祖元の筆跡の中でも出色の

作とされています。

無学祖元は宋の明州慶元府の人で、無準師範(仏鑑禅師)の門下生で、弘安二年に北条時宗の招きで来朝し、鎌倉の建長寺に住し、円覚寺の開山となりました。

○玳瑁天目茶碗

### 南宋渡来の名碗

中国の南宋で焼かれた茶碗は鎌倉時代以後、大量に日本へもたらされました。特に曜変、油滴など釉薬の突然変異による偶然性を賞でた日本人の好みによって茶の湯と結びつき、数多くの名碗が生み出されました。その一つが玳瑁で、南宋の江西省吉安県永和鎮の吉州窯で焼かれた天目茶碗です。天目茶碗は挿鉢形の抹茶用の茶碗で、その呼称は天目山へ留学した日本の学僧が持ち帰ったことから、とされています。内面に玳瑁に似た斑文様が現れるところからその名が付けられました。玳瑁はウミガメ科の亀で背甲は暗褐色の雲形に

なることから工芸材料として重用されたのです。口径一一・九センチ、高さ五・七センチ、素地は淡い卵殻色の硬い半磁質で、内外面に黒飴色の天目釉がかけられ、その上に失透性の薬灰釉をかけて文様をあらわしています。



玳瑁天目茶碗

この茶碗は茶人大名として知られた松江藩主の松平不昧公(一七五一―一八一八)が所持し、その後は大阪の萬野美術館を経て同館の解散後、縁あって相国寺の所蔵となり、境内の承天閣美術館で収蔵・展示されています。



# 大報恩寺

○本堂（千本釈迦堂）

創建以来の和様仏堂

「千本釈迦堂」の名で知られる大報恩寺は義空ぎくうによって承久三年（一二二二）に開創されました。義空の母が薬師如来に祈ったところ日輪を呑む夢を見たことで懐妊したと伝えられています。義空は鎌倉で修業したあと比叡山ひえいせんで澄憲ちやうけんに師事して天台密教を会得した僧です。猫間中納言光隆の従者岸高きしたかが自宅を義空に寄進したところから仮堂に釈迦如来像と十六弟子像を安置しました。これらの仏像は現存し、十六弟子立像には快慶の銘があり、像内納入経から承久二年（一二二〇）の製作であることがわかりました。これらは重要文化財に指定され境内の霊宝殿に収蔵されています。

本堂は鎌倉時代に創建されて以来、ありがたいことに火災に遭っ



写真 水野克比古

大報恩寺 本堂

たことがなく、洛中にある最古の木造建造物となっています。市街地に囲まれながらも、度重なる大火から免れたのは西陣の町衆が守ってきたからなのです。かつて

代の典型的な純和様建築です。堂内の春日厨子かすがずしも創建当時のもので、中には行快作ぎやうかいの木造釈迦如来坐像（重要文化財）を安置しています。

は背後まで民家が接していましたが、国の事業として火除地ひよけちを設け、解体修理によって瓦葺を檜皮葺に戻し、度々の修理で原形をとどめなく建て替わった建築構造も創建当時に復元されました。さらに棟木に安貞元年（一二二七）の墨書が発見されたことにより、寺の創建時にまでさかのぼることが判明しました。

堂は桁行五間、梁間六間、一重の入母屋造で、組物ぐもつが出組となっていて鎌倉時代

香木・薰香・匂香

香山田松香木店

〒602-0814  
京都市上区御所小路町1-6-14  
TEL 075-4414694  
TEL 075-4414694  
FAX 075-4317870



ぼたん鍋と京料理

元祖 畑かき

京・上御霊前烏丸西

☎〇七五・四四一・〇六一〇代



# 北野天満宮

○本殿・石の間・拝殿及び楽の間  
権現造社殿の原型

天神さんといえ、いわずとも知れた上京を代表する神社である北野天満宮です。祭神は菅原道真。平安時代の政治家であり、当時の文化人といふべき人物です。あまりにも才人であり、右大臣にまで昇ったことから、政敵の藤原時平に疎まれて太宰権帥だざいごんすいに左遷されます。没後その霊が怨霊となって都の公卿達を悩ませ、北西の京外に祀られていた火雷神が結びついて天神信仰が発生したと考えられています。そして北野の地に祠が設けられるようになり、天徳三年（九五九）になって右大臣藤原師輔ふじすけが社殿を造営したことによって神社としての体裁が整い、次第に御霊信仰から氏神信仰や学問の神として崇敬されるようになります。その後数回の火災や改築を経て

現在の社殿は、慶長十二年（一六七）に豊臣秀頼が造営したと伝えられています。その配置は入母

屋造、桁行五間、梁間四間の本殿の前に、桁行七間、梁間三間の拝殿を構え、その間を床の低い石の間で連結し、脇殿や楽の間を組み合わせて八棟造という複雑な構成の社殿となつています。檜皮葺の入り母屋に千鳥破風や軒唐破風を配し、後の権現造の祖型とする近世初期神社建築の代表的なものとされています。周囲には廻廊が巡らされ、多くの門や摂末社が社殿群をつくり上げています。



北野天満宮 社殿

写真 水野克比古

京都に生まれて五世紀

www.toraya-group.co.jp

五三三 くらや

Every Day 5:00~7:00pm  
**HAPPY HOUR**  
**40%OFF**

金曜・土曜は  
4:00pmから開催!!

毎日17~19時はお酒が4割引!!ホテルバーのハッピーアワー!!  
1F ライブラリーラウンジ・バー「ヘイヴン」では、  
毎日17~19時はボトル、企画商品および喫茶メニューを除く、  
**すべてのドリンクを40%OFF**でお楽しみいただけます。  
この機会にホテルバーをお気軽にご利用ください。

ライブラリーラウンジ・バー「ヘイヴン」 Tel.075-223-8974 (直通)

地下鉄京都市役所前駅から徒歩で約1分

京都ロイヤルホテル & スパ

## ○北野天神縁起

### 菅原道真をめぐる絵巻

平安時代に描かれはじめた絵巻物は鎌倉時代になると日本独自の展開を見せ、物語だけではなく社寺の縁起や特定の人物の一代記を題材とするようになります。その縁起の代表が『北野天神縁起』であり、根本縁起や承久本と呼ばれています。

北野天満宮に伝来しているこの絵巻は、縦五・五センチという幅広の画面であり、用紙を縦に継いだものです。それだけに岩絵具の華麗な彩色によって写実的な澁刺とした画面をつくりだしています。全九巻をつなぐと八〇〜九〇メートルにもなり、その内容は菅原道真の一代記だけでなく、没後の有様や因果の道理を示そうとした日蔵六道廻りまでを詞書と絵で説

いており、後世数多く作られた天神縁起の根本縁起といわれる由縁です。

承久本といわれる根拠になる「承久元年今に至るまで」の詞書から承久元年（一二一九）頃に編まれたと推定されています。現存最古の天神縁起の作品というだけでなく、数ある国宝の絵巻の中でも異色の優作というべきでしょう。



北野天神縁起 巻四 恩賜の御衣

## 廬山寺

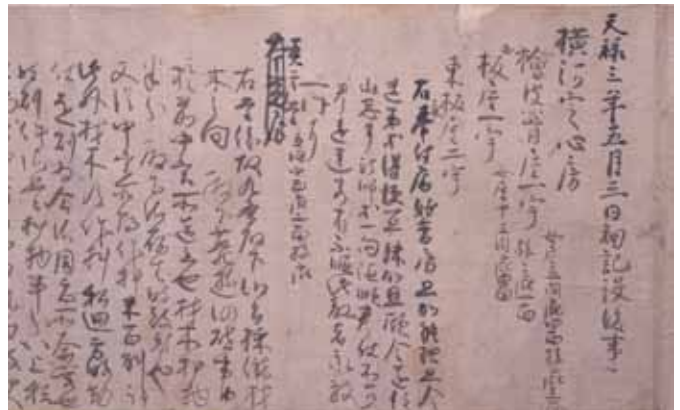
### ○慈恵大師自筆遺告

#### 天台高僧の自筆遺言

廬山寺は節分の鬼の法楽で有名ですが、天台宗の一派、天台圓淨宗の本山として現在は京都の東側に境内を構えています。良源が天慶元年（九三八）に北山に開いた寺が始まりで、天正年間（一五七三―一五九三）に豊臣秀吉の市街地改造により現在地に移りました。

良源は大師号を慈恵大師といひ、また元三大師とも称されました。この遺告は病床にあつた良源が高弟の尋禪に対して残した遺言状です。「天禄三年五月三日初記没後事」で始まる十九枚もの料紙に自筆で認めるのに十四日を費やし、その上に加筆訂正され、行間に余白もあるところから草稿であると考えられます。

その内容は、延暦寺の三塔（東塔、西塔、横川）の多くの堂舎や



慈恵大師自筆遺告

諸国に散在する莊園、さらには秘法とされる顕密の法文や道具などの譲与を指示するだけでなく、自らの没後の葬送、墳墓、追福に至るまで具体的に示しています。しかし、良源はその後十三年も生き長らえ、永観三年（九八五）に没しました。亡くなった正月三日から元三大師と呼ばれるようになりました。



ほかに天禄元年（九七〇）に書かれた慈恵大師廿六箇条制式をはじめ、仏画、仏像、文書などが重要文化財に指定されています。

## 冷泉家時雨亭文庫

冷泉家は藤原氏の本流である北家の御子左流で、藤原為家と阿仏尼の子為相に始まり、祖父の定家の旧居が冷泉小路（今の夷川通）にあったところから家の名としました。為相は父より家相伝の文書・記録・和歌文書を受け継ぎ、子孫は歌道家として活躍しました。

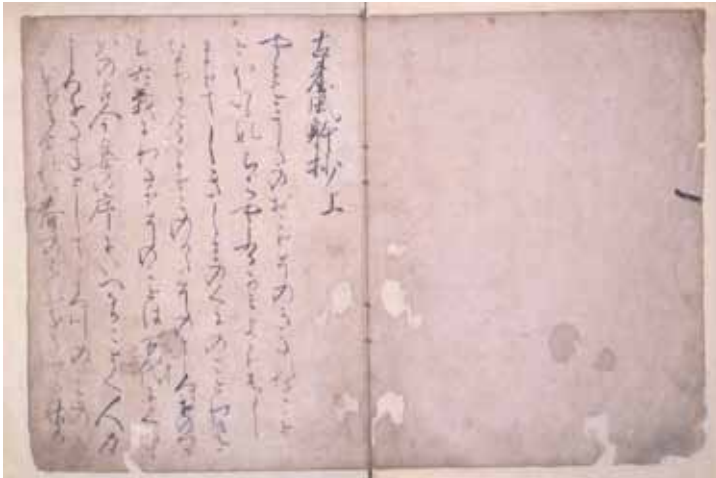
今出川通烏丸東入の冷泉家住宅は、天明の大火後の寛政二年（一七九〇）に建てられ、公家屋敷の原型を伝える唯一の建物として重要文化財に指定されています。その中に御文庫という土蔵があり、二万点に及ぶ典籍や古文書が収蔵され、国宝五件、重要文化財四十

八件が含まれています。

### ○古来風躰抄

#### 俊成自筆の歌論書

藤原俊成（一一一四—一二〇四）は定家の父であり、平安時代末期の歌人として幽玄を説いて当時の歌壇に大きな影響を与えました。勅撰集である『千載集』の撰者と



古来風躰抄

して知られ、家集『長秋詠藻』を残しており、百人一首にも、皇太后宮大夫俊成として「世の中よ道こそなけれ思い入る山の奥にも鹿ぞ鳴くなる」という青年期の歌が取り上げられています。

俊成の著した歌学書が『古来風躰抄』で、上帖に『万葉集』、下帖に『古今集』から『千載集』に至る和歌を抜き出し、歌風の歴史の変遷を論じています。書かれたのは建久八年（一一九七）八十四歳の時ですが、枯枝を折ったような独特の筆法が明らかで、その特徴をよくあらわしています。

表紙は白茶地唐草文様の唐紙を、本文には一部に雲母を散らした高雅な料紙を用い、執筆当時のままの姿を伝えています。著者自筆本の著書として、これほど古いものは世界的にも稀な典籍だとされています。

新・古茶道美術品

清昌堂  
やました

京都店・京都市上京区小川通寺ノ内上ル

〒602-0061 TEL (075) 431-1366

FAX (075) 431-1370

東京店・東京都新宿区市谷甲良町1-8

〒162-0856 TEL (03) 5261-4566

FAX (03) 3235-5677

柔道圓心道場

〒602-0014  
京都市上京区室町通寺之内西上ル柳原北半町 210  
TEL (075) 441-1968 / FAX (075) 441-2972

山崎接骨院

〒602-0898  
京都市上京区烏丸通寺之内西上ル相国寺西門前町 647  
TEL (075) 451-6050 / FAX (075) 451-6051

<http://www.enshin.sakura.ne.jp/>

○古今和歌集

定家筆の勅撰和歌集

古今和歌集は平安時代を代表する最初の勅撰和歌集です。これは延喜五年(九〇五)に醍醐天皇の勅命により当時の代表的な宮廷歌人によって編纂され、二十巻千百首に及ぶ古今の和歌が集大成されました。王朝風の雅やかな歌集が後世まで和歌の正本として重要視されたのです。

冷泉家に伝えられたこの本

は藤原定家が嘉禄二年(一二二六)に書写したところから、嘉禄二年本と称されています。定家はあらゆる歌集の中でも『古今和歌集』を第一と重んじ、生涯に十数回も書写しながら本文の校訂や研究に努力しました。しかし定家筆本が現存するのは伊達家旧蔵無年号本と嘉禄二年本だけです。五十四歳の時の筆跡は後に定家様と呼ばれる特徴ある手跡を彷彿とさせます。その定家筆の奥書のあとに、当



古今和歌集

千四百数十首からなります。

定家は『後撰和歌集』を十回近くも書写していますが、完本として現存するのはこの一冊だけです。奥書には天福二年(一一三四)三月二日に書写を終えたたとあり、そこにある「明静」は前年に出家した定家の法名です。

奥書の後にある為家の識語には子の為相に譲るとあり、『古今和歌集』とともに為相が相続したことがわかります。

○後撰和歌集

定家書写になる完本

時三歳の為相に譲るという文永二年(一二六五)の為家の識語があり、代々門外不出の秘本として守り継がれてきた由来を知ることができます。

第二番目の勅撰集として村上天皇の勅により、天曆五年(九五二)に源順らによつて撰集された歌集で、二十巻、



後撰和歌集

歴史文字シリーズ

伝達浪漫

紀元前3000年頃。パンのシンボルが描かれ、食料配給の割り当てが記録されている。

**和光印刷株式会社**

〒602-0012 京都・烏丸通上御霊前上ル TEL.075-441-5408(代)

E-mail:info@wako-print.co.jp

京都人さえもが恋するホテル。

BRIGHTON KOTO

〒602-8071 京都市上京区新町通中立売(御所西)

TEL.075-441-4411 (代) FAX.075-431-2360

http://www.brightonhotels.co.jp/kyoto/



## ○拾遺愚草

### 定家自筆の家集

「拾遺」とは侍従の唐名で当時の定家の官職をあらわし、「愚草」は自らの作歌をへりくだって題名としたのです。上中下の三帖に二千八百八十五首を収めており、貞永元年（一二三二）七月以降に定家の自筆で清書されたものです。現存する最古の著者自筆の自撰家集です。

この本は金銀切箔に砂子を散らした雲霞引きの斐紙を表紙とし、



拾遺愚草

本文は厚手の斐紙に書かれていますが、下方には手擦れと手垢が残り、冷泉家代々が一貫して研鑽につめて来た有様を目のあたりにすることができません。

## ○明月記

### 定家の一生を知る自筆の日記

明治以前において、特に公家の日記は、朝廷での行事や政務を子孫に伝えるために書きしるされたものでした。それらは後世のひとびとの手によって書き写され、原本が紛失したあとも写本が伝えられていることが多く、その内容を知らることができません。

しかし『明月記』は定家自筆のものが残っており、その内容も当時としては珍しく、日常の出来事や市井の事件なども書きしるされ、鎌倉時代の世相を知る上で欠くべからざる一級資料となっています。

平安時代の自筆の日記といえ、国宝として世界遺産にも登録



明月記

一八〇）二月から七十四歳の嘉禎元年（一二三五）十二月までの五十六年間です。そのうち冷泉家では三十一歳の建久三年（一一九二）から七十二歳の天福元年（一二三三）に至る自筆本が伝えられています。

『明月記』は卷子（巻物）状ですが、その本文は、定家のもとに届いた手紙の裏などを利用して書かれています。届いた手紙の裏は白紙なので、その部分に日記を書

されている藤原道長の『御堂関白記』が知られていますが、それに勝るとも劣らないのが藤原定家の『明月記』であるといえましょう。冷泉家ではこの日記を特に「めいげつき」と促音で呼んでいます。

『明月記』は定家の青年期である治承年間（一一七七―八一）から書き始め、亡くなる直前の八十歳まで書き継がれましたが、現存するのは十九歳の治承四年（一



大本山相国寺  
TEL (075) 231-0301  
承天閣美術館  
TEL (075) 241-0423

〒602-0898  
京都市上京区  
相国寺門前町701  
<http://www.shokoku-ji.jp>

いたわけですから。この、もとの手紙（日記の裏にある文書）の方を紙背文書といっています。紙背文書からは、定家の交友関係もうかがうことができ、貴重な史料となっています。

## 清浄華院

### ○絹本着色阿弥陀三尊像

#### 南宋渡来の仏画

阿弥陀三尊像といえは平安時代以降流行した浄土信仰による阿弥陀来迎図が想起されますが、この画像は中国南宋時代の様相であり、それは日本の慈悲円満な相と違って、画面を圧倒する強さと厳

しさを備え、著しく人間臭く表されています。

この阿弥陀三尊像は絹本着色の三幅で、縦一二六・八センチ、横四九センチ、中幅に正面相の阿弥陀如来立像、左右幅には両脇侍の立像を内向きに配し、各幅に「四明普悦筆」の落款が見られます。中尊は朱の大袈裟をまとい、両足をそれぞれ踏み割らんばかりに二つの蓮台に立ちはだかり、暗く沈鬱な表情は日本の阿弥陀像に見られない厳しい実践修業に支えられた中国観想念仏の深刻さをよく象徴しています。作者の四明普悦はよく知られていませんが、十二世紀の南宋における仏画の名手であると推測されます。



絹本着色阿弥陀三尊像



## 事業報告



## 編集後記

平成三年度から二十五年間にわたり、年二回上京区にお住まいのみなさまにお届けしてきた「上京―史蹟と文化―」は、今号で五十号を迎えました。これもひとえに、御協賛をいただく広告主や毎号楽しみにされている読者のみなさまをはじめ、取材・執筆等に御協力をお願いしました方々等関係各位による御支援の賜物であり、厚く申し上げます。今後も、上京区の豊かな歴史と伝統に育まれた質の高い文化を身近に感じられるような紙面づくりを心がけてまいります。

上京区文化振興会会長を長く務められ、表紙写真の撮影をはじめとして当冊子の発行に尽力された小谷一之氏が、昨年十二月御逝去されました。ここに、謹んで哀悼の意を表します。



**Banquet** (ご宴会)  
 歓送迎会、慰労会、法事...  
 あらゆるニーズに対応いたします。  
 お料理、4,000円から承ります。

**Restaurant** (レストラン)  
 お気軽にお食事をお楽しみいただけます。  
 ご昼食 11:30 ~ 15:00 (L.O. 14:00)  
 ご夕食 17:00 ~ 21:00 (L.O. 20:30)

*Rubino*

京都御所蛤御門徒歩8分

ホテルルビノ 京都堀川

〒602-8056 京都市上京区東堀川通下長者町3-7  
 Phone: 075 (432) 6161 Facsimile: 075 (432) 6160

「上京・史蹟と文化」は上京区役所地域力推進室まちづくり推進担当で販売致しております。(TEL 441-5040)  
 また、上京区役所のホームページで御覧いただけます。

# 鑑定書不要!

ダイヤモンド&宝石各種、絶賛高価買取中!

宝石・貴金属の鑑定は、**FGA (英国宝石学協会)**  
 認定資格者が行いますので鑑定書は不要です。

宝飾・時計

ブランドバッグ

美術品・書画・骨董

YOROZUYA 四条店

ドライブスルー質屋 加藤商店グループ

(株)よろず屋 四条店 (楽天市場にも出店中)

京都市中京区東洞院通四条上ル「大丸京都店」北隣

TEL. **075-241-7900**

◎営業時間/買取 10:00~19:30

販売 11:00~19:30

年中  
無休

〈本店〉創業70年

京都市上京区烏丸通今出川下ル(地下鉄今出川駅すぐ)

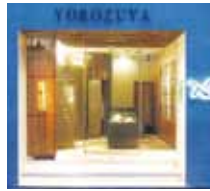
TEL 0120-25-0700

◎営業時間/11:00~19:00(土曜日は18:00迄)

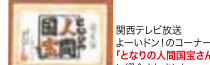
◎定休日/日・祝 ◎駐車場10台完備

京都 よろず屋 検索

京都 加藤商店 検索



地下鉄「四条駅」-阪急「烏丸駅」20番出口すぐ



関西テレビ放送  
よーいドン!のコーナー  
「となりの人形師さん」  
に紹介されました。



- 神学部
- 文学部
- 社会学部
- 法学部
- 経済学部
- 商学部
- 政策学部
- 文化情報学部
- 理工学部
- 生命医科学部
- スポーツ健康科学部
- 心理学部
- グローバル・コミュニケーション学部
- グローバル地域文化学部



Doshisha University  
**同志社大学**

http://www.doshisha.ac.jp/

お問合せ先 同志社大学 広報部 広報課 TEL:(075)251-3120

## 酢一筋の商い、伝統の滋味。

伝統から未来へ

京・西陣 孝太郎の酢

(有) 林孝太郎造酢

京都市上京区新町寺ノ内上ル東入道正町455

TEL (075) 451-2071

FAX (075) 451-8028



創立以来八十年に  
 わたって、  
 和やかな家庭的な  
 雰囲気にも包まれつつ  
 就学前教育の  
 本流をめざして、  
 保育を続けて  
 参りました。  
 幼児たちは  
 楽しい遊びを通して、  
 人生に必要な生きる  
 力のすべてを手に入れます。

学校法人 北野幼稚園

京都市上京区御前通一条下る (北野天満宮/バス停下車南100m)

TEL.463-0111(代)

http://www.kitano.ed.jp/



名物どうぶ  
 南禅寺 JUNSEI

左京区南禅寺門前 電話 075-761-2311

http://www.to-fu.co.jp



# 発展、ともに前へ… 洛和会丸太町病院

洛和会ヘルスケアシステム®

京都市中京区七本松丸太町上ル

## 救急対応

24時間365日

内科・外科救急

内科／呼吸器内科／  
消化器内科／心臓内科／  
神経内科／外科／  
整形外科／形成外科／  
皮膚科／泌尿器科／  
耳鼻咽喉科／麻酔科／  
リハビリテーション科／  
内分泌糖尿病内科／救急科

## 耳鼻科救急

月～金 午後7時～  
午後11時

救急・急患には24時間体制で対応しています。

洛和会丸太町病院へのお問い合わせは **TEL 075(801)0351(代)**



*M*  
MALEBRANCHE  
京都北山

洋菓子

マールブランシュ 京都北山本店

〒603-8053 京都市北区北山通植物園北門前  
TEL (075)722-3399・FAX (075)702-9440  
9:00AM-8:00PM 年中無休 (喫茶10:00AM-8:00PM)  
<http://www.malebranche.co.jp>

ご注文専用  
フリーダイヤル **0120-139-399**  
受付時間 9:00-18:00 [日曜日定休]

MISAWA

# ミサワホームイング

増改築  
リフォーム

リフォームをお考えの方に

全面改装・部分リフォーム・再生リフォームを通じて、安心・安全・快適に暮らす住まいをご提供します。

住まいを通じて生涯のおつきあい  
MISAWA

ミサワホームイング 近畿 京都店

〒604-0022 京都市中京区室町通御池上る御池之町323 075(211)3241

■お申込はこちら

**0120-330-351**  
火・水曜日 定休 受付時間 AM10:00～PM6:30